



Japan Basketball Academy presents

「もうひとつの大会」熊本でスタート！

とうとう、始まっちゃいました！もうひとつの大会 U-12 熊本リーグ戦。世界にひとつだけの、もうひとつの大会。世界基準創り。ルールも雰囲気もまったく新しいモノになっているかと思えます。

さる2月16日(日)、合志 Perfect Combustion 対 大津 Red Bears のカードで幕を切った「もうひとつの大会 U-12 熊本リーグ」は、今回対戦したチームに熊本 Red Bears、益城わくわく Red Bears の2チームを加えた4チームで開催されます。

実行委員長は Tornadoes Academy 熊本合志 Perfect Combustion の代表エアロコーチこと守田敦



コーチ。主催は Japan Basketball Academy。まずは新しい一歩を踏み出したということで、次年度からは趣旨に賛同してくださるチームを募って、規模も拡大していけたらとのこと。

また、今後の予定として「U-15 リーグの開催」、「ワンデーターナメント or ワンデーリーグの開催」、「北九州、愛媛、広島など近県を中心にした交流戦」、「大阪で行う全国大会」、「海外との交流大会」なども検討しています。

全国各地・世界各国で価値観を共有した「もうひとつの」大会が開催できるようになると嬉しいですね。この5年 or 10年でどこまで行けるかわかりませんが、ご支援、ご協力お願い致します。

ちなみに今回のこの大会、8分間の8セット制で行われました(ルールについては後述)。最初は大差になるゲームもあったものの、セットが進むにつれてナイスゲームになっていきます。

どうしても、チームとチームでは、体格の差、スキルの差によって自然とチーム力の差も生まれてしまいます。そのチーム力の差がセットを重ねるたびに、調整することで縮まります。勝ったチームが後半、調整できなかったわけでもありません。互いに調整しています。負けたチームの方が、スキルの差があった分、調整するポイントがたくさんあっただけなのです。実際にゲームを見ると、点数差や勝敗以上のものが、この大会の中にはたくさんあることを感じられました。

「もうひとつの大会」ってなに？

4,5年前にとある場所である提案がありました。

「トーナメントでは、勝ち進むチームと1,2回戦で負けるチームは年間の試合数に違いがありますよね。」
「チームによって、練習時間がバラバラですよね。」
「チームによって、選手の数が違って、レギュラーと控えでは練習量が違いますよね。」
「指導者がいないチームもありますよね。」
「こんなことから、強いチームや経験値の多い選手は経験を更に積みやすく、そうでないチームや選手は経験を積みにくい、そんな環境になっていますよね。」
「選手(子ども)たちは、環境を選びづらいですよね。また、選手(子ども)たちは、それぞ

れの家庭環境やその他の環境で成長(発育)のスピードが違います。環境によって、不平等であるのはもったいないですよ。」『もうひとつの大会』を開催しませんか？」

ゲームの勝ち負けでチームの“優劣”に決着をつけるためでなく、お互いが成長するために、参加する選手もコーチも楽しく、成長できるためのルールづくり。今回は試験的に下記のルールで開催しています。

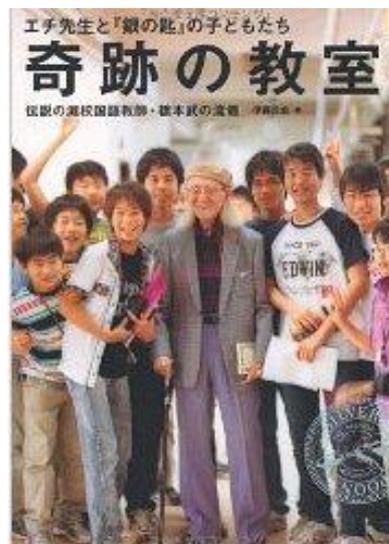
- 【参加資格】
- ・ 県大会に出場出来ないチーム。
 - ・ 県大会にて3回戦以上に進めないチーム。
 - ・ クラブチームやスクールなど、公の大会に出場出来ないチーム。
 - ・ クラブチームやスクールなど、練習時間、場所の確保が限られているチーム。
 - ・ 指導者がバカやアホなどの言葉を使わないチーム。

- 【ルール】
- ・ 3メートル5センチのリングを使用
 - ・ 男子7号球 女子、混合6号球を使用
 - ・ 5分 × 8セット制(セットごとにすべてがリセットされます)
 - ・ 指導者がバカやアホなどの言葉を使ったら、指導者は2分間お口にチャック。

個々の選手が成長できるように。それぞれが鍛えたスキルを存分に発揮し合えるようなルール創りをしてみませんか？こんなアイデアがあるよ！って方は是非試してみてください。

BOOKS 奇跡の教室 エチ先生と『銀の匙』の子どもたち

戦後、公立の“滑り止め”だった灘校で、1冊の文庫本『銀の匙』を3年かけて読みこむ「スローリーディング」という手法の授業を実践。生徒達を京大・東大合格日本一へ導き、日本のリーダーを多数生み出した「エチ先生」こと橋本武さんの評伝。効率を求める周囲の声に「すぐに役立つことはすぐに役に立たなくなる」と応えたエピソードは深い。「学ぶこと、教えること」について考えさせられる本。伊藤氏貴著、小学館、1,365円



Tornadoes Academy でスキルテスト実施しました

各地の Tornadoes Academy でスキルテストが実施されました。

これは普段取り組んでいるドリルの習熟度を確認し、チャレンジするハードルの高さの調節や、クラス分け、コーチ陣のドリル内容改善などの参考にするために行われているものです。

熊本 Red Bears では松延幸哉さん、西倫太郎さん、中村雅さん(以上中2)、佐々木瞭さん(中1)、山内祐香さん(小5)がアドバンスクラスに。松岡舞さん(小6)がミドルクラス2に進級しました。

益城わくわく熊本 Red Bears では、黒川千夏さん(小6)がアドバンスクラスに、福島雪乃さん(中1)、西ひまりさん(小6)がミドルクラス1に、山口侑叶さん(小5)がミドルクラス2に進級しました。

愛媛 gaNeza では、テスト翌々週の“再チャレンジ”を経て小網克貴さん(中1)がミドルクラスに進級。北九州 Orange Raise でもスキルアップに繋がるテストの基準などを模索中です。

(クラス分けの基準は各アカデミーごとで異なります)

※Japan Basketball Academy Monthly News は原則として月1回発行します。HOOPにまつわる楽しい話題、ためになる情報をお知らせください。

発行責任者: JBA 愛媛 牧野淳 mackee1968@gmail.com